

2008 年度

科目名 情報機器論(視聴覚教育メディア論を含む)	対象学科・学年 文学部全学科 2 回生 教育教福 2 回生 人間人社 2 回生	担当者 前川 和子
授業テーマ 図書館における情報機器類の機能、利用について学ぶ		
授業の概要と目標 図書館には、業務処理のためのコンピュータをはじめ、資料・情報提供のための各種情報機器類が用意されている。そのため図書館員はそれらの情報機器類を使いこなし、また利用者に使用の支援をせねばならない。図書館に関わる情報の意義、図書館サービスと情報機器の関係を説明し、情報メディアの特性、視聴覚メディアの活用、コンピュータの活用、著作権などの理解を深める。インターネット情報資源へのポータルサイトである検索エンジンも含める。		
評価方法 出席、レポート、試験をあわせて、評価する。		
テキスト 資料を配布する。	著者	出版社
参考書 『情報機器論』（新現代図書館学講座：16）	著者 田畑孝一	出版社 東京書籍
授業スケジュール・内容 1. 情報・メディアの歴史、視聴覚メディアと情報機器の歴史 2. いかに図書館で情報機器が使われることになったか 3. 図書館施設の中の情報機器類（1）、著作権法（1） 図書館入り口、貸出、入館者数、電動書架、エレベーター、コピー機 4. 図書館施設の中の情報機器類（2）：OPAC（オンライン所蔵目録、オンライン利用者目録） 5. 資料と情報機器（1）：マイクロ資料と情報機器 6. 資料と情報機器（2）：音声メディア、映像系メディア 7. 資料と情報機器（3）：インターネット情報資源（1）：データベース 書誌データベース、全文データベースについて説明する 8. 図書館業務：ワープロ 9. 図書館業務システム：コンピュータによる図書館業務 10. 図書館業務と国立情報学研究所の関係 11. インターネット情報資源（2）：図書館員による情報の選択 12. 図書館にある情報機器類の確認：プリント（チェックリスト）を持って各自確認に行く 13. メタデータについて、著作権法（2） 14. 視聴覚教育メディア論 15. 電子図書館の現在		